

久留女木地域振興活動計画

作成主体の名称：久留女木地域振興協議会

1 久留女木地域振興活動を通じて保全を図る棚田等に関する事項

(棚田等の名称及び範囲)

久留女木棚田 (7.7ha)

範囲については、別添 1 のとおり。

2 久留女木地域振興活動の目標

- ・久留女木地域振興協議会は、貴重な国民的財産である久留女木棚田を保全し、棚田里山地域の有する多面にわたる機能の維持増進を図り、もって棚田里山地域の振興を図ることを目的とし、既に保全活動の中心である久留女木里山の会、久留女木竜宮小僧の会の事業を補佐する。
 - ・「自分の食べるものは自分で作る」などのテーマを持った、※¹自立した耕作者の育成を推進する。
- ※ 1 田んぼの耕作技術を理解し、他の耕作者と協調して耕作できる耕作者
- ・さらに、次の事項を目標に活動を行う。

(1) 棚田等の保全

・管理面積の維持

- 令和 9 年度末まで久留女木棚田における管理面積 3.7ha の現状を久留女木里山の会、竜宮小僧の会と共に維持する。
- 令和 9 年度末までに久留女木棚田における鹿による食害等の被害を無くす。
- 令和 9 年度末までに管理面積の増加に資する連携企業団体・大学等を 4 組織以上にする。

・担い手の確保

- 令和 9 年度末までに久留女木棚田の耕作についての学習動画や田んぼの教科書、AI 技術等を活用し、久留女木棚田の保全主体である久留女木里山の会、竜宮小僧の会の耕作者数 10 人を 2 人増やして 12 人にする。
- 久留女木棚田の農機具格納庫を健全に維持するとともに、令和 9 年度末までに耕作者共有の農機具を一層整備し、利用及び維持、管理を円滑に行える体制を整える。
- 久留女木棚田の拠点施設を健全に維持するとともに、令和 9 年度末までに久留女木地域振興活動の目標の達成に向けた一層の推進に資する事務局体制の強化を図る。
- 令和 9 年度末までに一層効果的な久留女木棚田の耕作者の育成環境を整備する。

・生産性・付加価値の向上

- 令和 9 年度末までに、食味分析結果 80 点以上のお米を作った実績がある耕作者を 2 人以上育成する。
- 令和 9 年度末までに、緑肥等生産性及び付加価値の向上、環境負荷の低減に資する営農方法の導入を研究する。
- 令和 9 年度末までに、棚田の価値を活かし、余暇の充実を図る外部からの取組参加者を 10 名以上増やす。

(2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

・農産物の供給の促進

- 新規の取組として令和 9 年度末までに、耕作されていない農地約 0.1ha を野菜作り等に供する耕地にする。
- 新規の取組として令和 9 年度末までに、耕作されていない農地約 0.1ha を綿花栽培等に供する耕地にする。
- 新規の取組として令和 9 年度末までに、耕作されていない農地約 0.1ha を蜜源等とする養蜂に取り組む。

・自然環境の保全・活用

- 小中学生等に向けた田植えや稲刈り等の体験学習等を毎年開催する。
- 星空観察会を年間 2 回以上開催する。
- 地域資源の大切さや取り組みの意義の理解を深める都市住民向けの棚田を巡る機会を年間 2 回以上設ける。
- 久留女木棚田の継承が陸の生態系を守る等の SDGs に貢献している等、社会的な意義を PR できる体制

や環境を整える。

- ・ **良好な景観の形成**

- 令和 9 年度末までに久留女木棚田の耕作されていない田んぼと、その周辺に優良果樹や花木等を約 20 本以上植栽する。
- 令和 9 年度末までに耕作されていない田んぼ約 0.1ha で景観作物を栽培する。
- 上記について、「日本の棚田 100 選」や「つなぐ棚田遺産」に選定された棚田として、文化的景観の保護と一体的に進める。

- ・ **伝統文化の継承**

- 稲刈りに使用する伝統的なスガイ作り等の体験イベントを開催する。

(3) 棚田を核とした棚田地域の振興

- ・ **棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興**

- 令和 9 年度末までに久留女木棚田サポーター等の取組支援者を令和 6 年度 70 組→100 組以上にする。
- 田植え、稲刈り体験の他、各種体験会等への参加者を累計 300 人以上で維持する。
- 地元住民、耕作者、その他取組支援者等が一堂に会し、親睦を図る催しを毎年開催する。

- ・ **棚田を観光資源とした地域振興**

- 令和 9 年度末までに、訪問者が一層久留女木棚田の魅力を感じ易く、取組等への理解を深め易くなる環境を目指した整備を進める。
- 令和 9 年度末までに、訪問者にとって一層訪れ易くなる環境を目指した整備を進める。
- 令和 9 年度末までに、訪問者と耕作者や地元住民が良好な関係を築き易い体制を構築する。
- 令和 9 年度末までに、農山漁村振興交付金を活用し旧久留女木小学校等の交流施設をリノベーション整備等し、年間 1,000 人以上の観光客を誘客する。

- ・ **棚田米等を活用した六次産業化の推進**

- 令和 9 年度末までに久留女木地域の地場産品を活かした新商品の開発と販売を模索する。

- ・ **歴史的な地域の営みの再評価・伝承**

- 棚田から竜宮小僧の湧き水を巡りながら、現在まで続く棚田の営みを伝承するツアーなど、地域に伝わる竜宮小僧伝説に因んだイベントを年 1 回開催する
- 「竜宮小僧伝説」や「万歳楽」、「大蛇踊り」等、棚田地域の伝統文化の継承に資する取り組みを実施する。

3 計画期間

認定の月～令和 10 年 3 月

4 各年度において行う久留女木地域振興活動の内容及び実施主体に関する事項

久留女木地域振興協議会は前述の目標を達成するために久留女木里山の会、竜宮小僧の会と共に活動する。

(1) 棚田等の保全

- ・ **管理面積の維持**

- 耕作者や棚田塾生、竜宮小僧サポーター、その他農作業ボランティア等関係者が協力して久留女木棚田の管理面積を維持する。
- 久留女木棚田の管理面積を維持するべく、鹿対策として、棚田を囲む柵高が 2 m 以上となるように、改修及び補強を行い、点検及び補修を毎年実施する。
- 市や県等が主催する企業団体や大学等とのマッチングや連携促進の機会を活用し、管理面積の増加に資する取組に繋がる調整を実施する。

- ・ **担い手の確保**

- 久留女木棚田の耕作についての学習動画や田んぼの教科書を知ってもらう機会を増やすべく、各種体験会や収穫祭等の機会で紹介すると共に、リーフレットやホームページ等の媒体も活用し広報する。
- 久留女木棚田の耕作について、より効果的且つ効率的に耕作者の育成を図るべく、AI 技術等の活用を模索する。
- 耕作者及び関係支援者各々のテーマを尊重しつつ、久留女木棚田のグランドデザインを踏まえ、関係人口

の増加に繋がる企画立案、事務局体制の発展等を検討する場を定期的に設ける。

・生産性・付加価値の向上

- 食味値向上へ向けた栽培方法等の意見交換の場を随時設ける。また、必要に応じてアドバイザー等の招集を図る。
- 一部の田んぼにおいて、緑肥や環境負荷の低減に資する営農方法等の試験導入を図り、作業性、品質、収量、経済性などの情報を収集し、耕作者への情報共有と意見交換、導入検討を図る。

(2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

・農産物の供給の促進

- 耕作されていない農地の利用方法について、野菜作り、綿花栽培、蜜源等のゾーニングを検討する場を毎年度設ける。
- 耕作されていない農地において、梅、栗、山椒等の果樹を育て、農産物としての供給を行う。
- 久留女木棚田のお米や、その他農産物のストーリーや価値を伝え、感想や要望等の意見交換が促進される様に、ホームページや SNS 等を一層充実させる。

・自然環境の保全・活用

- 小中学生、竜宮小僧サポーターや農業ボランティア等向けに田植え体験会や稲刈り体験会、星空観察会、生物観察会等の開催を企画すると共に、これの体験を一層効果的なものとするために学習コンテンツ等の整備を進める。
- 各種体験会を講じ易いように、棚田内に多目的な広場等の整備を図る。
- 里山における生物との共存を念頭に、地元猟友会との連携を図り、野生動物の適正数の維持を目指すと共に、野生動物の捕獲や関わり方等の理解を深めることを推進する。
- 久留女木棚田の生物多様性の価値の理解を深めるため、動植物の専門的な調査を行い、定量的な評価を図る。
- 棚田内に生物多様性の保全等に取り組むエリアを整備する。

・良好な景観の形成

- 優良果樹や花木、蜜源等の彩る植栽においては、適切な時期や良好な景観、生育適地実施する。
- 良好な景観の維持管理に資する資機材の導入を図る。
- 上記について、棚田を踏まえた文化的な景観の保護と一体的観点も意識して推進する。

・伝統文化の継承

- 収穫を皆で祝い感謝し、一年の活動の喜びを分かち合う収穫祭を年間一回開催し伝統文化の継承と、地元住民と活動関係者との親睦を図る。
- 稲刈り体験会や上記収穫祭等の機会を活用し「スガイ作り体験会」等伝統文化の継承に資する体験が出来る場を企画する。

(3) 棚田を核とした棚田地域の振興

・棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興

- 田植え、稲刈り体験会の他、各種体験会や収穫祭を開催し関係人口の創出・拡大を図る。
- 棚田の魅力を伝え、未来へ繋ぐ保全活動への参加を広く呼び掛ける目的でホームページや SNS、パンフレット等の適宜更新を図り情報発信力の強化に努める。
- 収穫祭や「棚田サミット in 浜松」等、関係人口の創出・拡大に繋がる機会を捉え、地域振興により効果的な手法を検討する。
- 旧久留女木小学校等の屋内外利用を活発化し、耕作・天文・文化・防災等の学び及び経験を得られるイベントや機会を企画する。

・棚田を観光資源とした地域振興

- 棚田のトイレ、駐車場、棚田内の案内看板、デッキやベンチ、テーブル等、棚田耕作者と訪問者の良好な交流が図れる環境を維持・整備・更新を図る。
- 棚田内の案内看板や休憩用ベンチ等を内外関係者とワークショップ形式で制作する等、関係した人が一層

棚田に愛着を持って関われる機会を企画する。

- 久留女木棚田への案内看板等の整備について、関係機関への働きかけや協議を進める。
- 久留女木棚田への訪問者と耕作者や地元住民が良好な関係を一層築き易くする体制の検討の場を定期的に設け、体制の構築を図る。

・ **棚田米等を活用した六次産業化の推進**

- 久留女木地域の地場産品を活かした新商品の開発と販売を検討するべく、情報共有や検討の場を定期的に設けると共に、必要に応じてアドバイザーの招集を図る。

・ **歴史的な地域の営みの再評価・伝承**

- 「竜宮小僧伝説」や「万歳楽」、「大蛇踊り」等の語り手やガイドボランティアの育成・確保体制を整える。
- 「竜宮小僧伝説」や「万歳楽」、「大蛇踊り」等の紹介コンテンツとして、HP、パンフレット等を整備する。